

トンネル防水シート剥離！走行中列車に衝突！ 東海道本線・丹那トンネル

一步間違えば大惨事！

10月13日、東海道本線来宮～函南間の丹那トンネル内で、剥離して垂れ下がっていた「防水シート」に走行中の列車が接触し、緊急停止する事故が発生しました。幸い先頭車前部屋根上に傷がついた程度で済みましたが、車種によっては前面ガラスに衝撃する恐れもあり、一步間違えば乗務員の生命にも関わることであり、大惨事となりかねない重大事故でした。トンネル内の壁などが剥がれる事故は過去にも発生しており、あらためて事故原因の究明と再発防止、緊急対策が問われる事態となりました。

会社は、日頃から「安全設備には惜しめない投資を行っている」と言っています。しかし、このような事故が発生した以上、トンネル点検のあり方やハード面対策など再発防止に向け万全を期すべきです。私たちは、申し入れを行い会社の対応を質すこととしました。

JR東海労申第15号
2008年10月21日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 松本 正之 殿

JR東海労働組合
中央執行委員長 鈴木 富雄

防水シート列車衝突事故に関する申し入れ

10月13日11時20分頃、東海道本線来宮～函南間の丹那トンネル内上り線で剥離し垂れ下がった防水シートに、1442M列車が衝突し緊急停車する事故が発生した。幸いにして乗務員及び旅客に怪我はなく、車両にも損害は認められなかった。

しかしこの事故は、一步間違えば運転士の生命の危険や架線切断・車両火災の重大事故につながる可能性を含んだ重大な事故である。

したがって、今回の事故は安全上重大な問題であため以下の通り申し入れをしますので誠意ある回答をすること。

記

1. 丹那トンネル内で発生した防水シート剥離の状況及び原因を明にすること。
2. 再発防止の具体策を明らかにすること。
3. JR東海管内すべてのトンネル内の防水シート設置箇所を緊急に点検すること。
4. JR東海管内のトンネル内コンクリート壁及び防水シートの点検方法や点検周期など保守管理体制を明らかにすること。

以上

事故原因究明、再発防止を求めて申し入れ